

JENESYS 2.0 及び北米地域との青少年交流**韓国高校生訪日研修団 (第4団)**

訪問日程 平成26年2月13日(木)～2月19日(水)

1. プログラム概要

JENESYS2.0の一環として、韓国国立国際教育院より派遣された韓国の高校生で構成された韓国高校生訪日研修団(第4団)計49名が来日し、2月13日から2月19日までの6泊7日の日程で研修を行いました(団長:金玲補(キム・ヨンボ)松峴女子高等学校校長)。一行は、「日本を感じる」という研修テーマの下、滞在中、熊本県天草市でホームステイを行ったほか、学校訪問や文化体験を通して日本の魅力を体感しました。

2. 日程**2月13日(木)**

成田国際空港到着、オリエンテーション

2月14日(金)

講義、歓迎昼食会、大雪のため新幹線で熊本へ移動

2月15日(土)

学校訪問(熊本県立苓明高校)、天草市内見学(天草歴史概説講義、天草文化交流館、本渡歴史民俗資料館)、ホームステイ対面式

2月16日(日)

日本文化体験(茶道、華道)、ホームステイより集合、ホームステイ解散式

2月17日(月)

天草市内見学(天草ロザリオ館、大江天主堂、上田陶石合資会社、苓北真珠、天草漁協五和支所)

2月18日(火)

学校訪問(熊本県立宇土高校)、福岡へ移動、感想報告会

2月19日(水)

福岡国際空港より帰国

3. 写真



(日本語) 2月14日 講義 (都内)

(母国語) 2월 14일 강의 (도내)



(日本語) 2月15日 芥明高校訪問 (熊本県天草市)

(母国語) 2월 15일 레이메이고교방문(아마쿠사시)



(日本語) 2月15日 ハイヤ踊り体験 (芥明高)

(母国語) 2월 15일 하이야 춤 체험 (레이메이고)



(日本語) 2月15日天草歴史概説講義 (熊本県天草市)

(母国語) 2월 15일 아마쿠사역사개설 강의 (아마쿠사시)



(日本語) 2月15日ホームステイ対面式天草市長歓迎挨拶

(母国語) 2월 15일 홈스테이대면식 아마쿠사시장 환영사



(日本語) 2月16日茶道体験 (熊本県天草市)

((母国語) 2월 16일 다도체험(아마쿠사시)



(日本語) 2月16日ホームステイ解散式

(日本語) 2月16日ホームステイ解散式記念撮影

(母国語) 2월 16일 홈스테이 해산식

(母国語) 2월 16일 홈스테이 해산식 기념촬영



(日本語) 2月17日 天草ロザリオ館見学

(日本語) 2月17日上田陶石見学

(母国語) 2월 17일 아마쿠사 로잘리오 관 견학

(母国語) 2월 17일 우에다 도석 견학



(日本語) 2月17日天草漁協五和支所イルカ観察

(日本語) 2月17日真珠養殖会社訪問(熊本県苓北町)

(母国語) 2월 17일 아마쿠사수협 돌고래 관찰

((母国語) 2월 17일 진주양식회사방문(레이호쿠마치)



(日本語) 2月18日宇土高校歓迎出し物披露

(母国語) 2월 18일 우토고교 환영발표



(日本語) 2月18日宇土高校歓迎式記念撮影

(母国語) 2월 18일 우토고교 환영식 기념촬영



(日本語) 2月18日 宇土高校学生交流会

(母国語) 2월 18일 우토고교 학생교류회



(日本語) 2月18日 宇土高校学生交流会

(母国語) 2월 18일 우토고교 학생교류회

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

- ・地域の伝統文化を愛し、守る姿が印象的だった。
- ・ホームステイや学校訪問を通じて見えた、日本の社会と生活の実像が最も印象的だった。これまで持っていた日本に対する固定観念や先入観が変わるきっかけになった。
- ・畳の部屋で寝たり、浴衣を着て温泉に行ったり、日本の食事を食べたりと、色々な経験をした。畳の部屋は思っていたより結構寒くて大変だったが、温泉に入った時は本当に幸せだった。
- ・日本人はいつも友好的で、礼儀正しい態度をとっていたのが印象的だった。
- ・ホームステイが一番印象的だった。
- ・普段できないイルカウォッチングや真珠取り出し体験ができてとっても良かった。

○ホームステイについて

- ・日本というと、心理的に遠く感じるものがあつたが、ホストファミリーとの出会いを通して、日本は私たちの隣人なのだと改めて認識できた。
- ・ホームステイ先で出会った人たちの笑顔と細やかな心遣いが私の心を温かくしてくれた、
- ・ホームステイで優しくしてくれたホストファミリーのお父さん、お母さんという新しい家族ができてうれしかった。
- ・言葉は通じなかったが、表情やジェスチャーで伝えることも楽しかった。

○日本の学校、学生との交流について

- ・ハイヤ踊りを見ながら、天草の歴史を実際に体験した気分になった。
- ・宇土高校生徒とゲームや部活動体験などを通して、日本の学校生活を知ることができ、韓国との共通点や異なる点についても知り、学ぶことが多かった。
- ・学校訪問では新鮮な衝撃を受けた。はじめは言葉の壁があるのでうまく交流できるか心配だったが、心で通じ合うことの喜びを味わうことができた。
- ・韓国ではなかなか体験できない茶道や生け花が出来て良かった。
- ・部活動が羨ましかった。

○伝統、文化、自然に関して

- ・天草の自然は本当にすばらしかった。
- ・研修中、自国、地域の文化を守り、次の世代へ引き継いでいく姿を見ることができた。韓国でも同じ姿を見ることが出来ればと願うようになった。

- ・日本はほとんど何処へ行っても綺麗だった。

○人間性について

- ・地域に住む人々の温かさを感じることができた。
- ・日本人はとても親切でマナーが良い。
- ・数えきれない程、「すみません」という言葉を聞いた。
- ・格式があつて礼儀正しかった。
- ・バスが見えなくなるまで手を振ってくれた日本人の心を忘れられない。

○その他

- ・他の人を思う気持ち、愛情を知り感動した。短い期間であつたが、日本での多くの人との出会いを通して、自分自身の世の中を見る大きな視点を持つことができた。
- ・今回訪れた天草の生活、文化、地域的な特色について知ることのできる良い時間となった。一生

忘れることのできない思い出となるだろう。

- ・今回の研修を通して日本に対する印象が変わり、温かさや親切さを沢山貰えた研修だった。
- ・今度来る時までにもっと日本語を頑張りたい。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・日本を訪れ、その経済力に驚くこともあったが、何よりも印象的だったのは、日本人たちの親切さだった。このことを韓国に帰ってから伝えていきたい。
- ・6泊7日と短い期間ではあったが、私の人生にとっては、何物にも代えがたい貴重な経験であった。この研修で経験したことを周りの友達にも伝え、日本を愛する人を増やしていきたい。
- ・このプログラム参加を積極的に勧めたい。